

2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化について

【第4期がん対策推進基本計画】

がん医療の需要変化等が見込まれる中、引き続き適切ながん医療を受けることができるよう均てん化の促進に取り組むとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進

厚生労働省は「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の提言を受け、令和7年8月1日付で「2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関するとりまとめ」を公表、8月29日に基本的な考え方及び検討の進め方について、都道府県へ通知

基本的な考え方

人口減少と急速な高齢化が進む2040年に向け、限られた医療資源で質の高いがん医療を持続的に提供するため、均てん化（身近な地域での標準的医療の確保）と集約化（高度・専門医療の拠点化）を両立させる体制再構築を進める。

検討の進め方

	役 割
国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討に必要なデータの提供等の技術的支援 ・ 都道府県がん診療連携協議会での議論の進捗確認、取組支援 ・ 「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」の改定に向けた検討
都道府県	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん診療連携協議会と協働 ・ 地域ごとの医療資源、患者状況の把握、医療機能の見える化を推進 ・ 地域医療構想や医療計画と整合性を図り、地域の医療提供体制の維持、確保
がん診療連携協議会事務局（駒込病院）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国から提供されるデータ等を活用し、将来の医療需要から均てん化、集約化が望ましい医療について整理 ・ がん種ごとにがん医療提供体制の均てん化、集約化を議論、役割分担する医療機関の整理、調整 ・ 院内がん登録等の情報等、医療機関ごとの診療実績を一元的に発信

留意事項

- ・ 集約化には、患者、地域住民、医療現場の理解が必要
- ・ 多職種、多機関との地域連携の強化が一層重要
- ・ 持続可能ながん医療提供体制の構築には、医療DX等による業務効率化、拠点病院を中心とした人材育成も重要

今後のがん医療の需要と供給

2025年基準→2040年の将来推計と変化率 厚労省資料より抜粋

【全国】

生産年齢人口（15-64歳）は -15%、85歳以上人口は +42.2%と大きく増える見込み

がん罹患患者数
+3%程度

手術療法
-5%

放射線療法
+24%以上

薬物療法
+15%以上

【都】

他道府県より生産年齢人口の減少率が小さく、65-84歳の増加率が著しく大きい

がん罹患患者数
+10%以上

手術療法
+0%～+10%

放射線療法
+30%以上

薬物療法
+20%以上

東京都がん診療連携協議会における検討

QI（Quality Indicator：診療の質指標）を活用し、都内医療機関の役割分担を整理・明確化するとともに、がん医療の質向上を図ることを目的として評価・改善部会にQIワーキングを設置

- ・院内がん登録、DPCデータ等で算出可能な指標を中心に、現状把握（東京大学医学系研究科と連携）
- ・専門性が求められる分野（希少がん、難治がん）の役割分担
- ・都民、医療機関双方にとって分かりやすい情報公表 等について検討

整備指針の一部改正

令和7年8月29日「がん診療連携拠点病院等の整備指針」一部改正

改正後

I がん診療連携拠点病院等の指定について

- 1・2（略）
- 3 **都道府県及び**都道府県の全ての拠点病院等は、協働して都道府県協議会を設置し、**都道府県及び**都道府県拠点病院は、**都道府県協議会の運営を担うこと。都道府県は、地域の医療提供体制を維持・確保する観点から、地域医療構想や医療計画と整合性を図ること。**また、**都道府県及び都道府県拠点病院は、**拠点病院等の他、地域におけるがん医療を担う者、患者団体等の関係団体に、**必ず都道府県協議会へ参画させることとし、これらの者が主体的に協議に参加できるよう運営**すること。

改正前

I がん診療連携拠点病院等の指定について

- 1・2（略）
- 3 都道府県の全ての拠点病院等は、協働して都道府県協議会を設置し、都道府県拠点病院は**中心的な役割を担うとともに、他の拠点病院等は都道府県協議会の運営に主体的に参画すること。**また、拠点病院等の他、地域におけるがん医療を担う者、行政、患者団体等の関係団体に**も積極的な関与を求める**こと。

都の地域特性を踏まえ、均てん化と集約化の双方を同時に進めていくためには、拠点病院等の診療機能を維持し、がん医療の提供の更なる充実を図ることが重要。東京都がん診療連携協議会と協働し、地域医療構想や医療計画と整合性を図り、がん医療の質を向上させるための取組を推進していく。